

平成26年4月30日
水産庁

水産物の市況について（平成26年4月及び5月）

—東京都中央卸売市場における平成26年4月（平成26年3月21日～4月20日集計）の市況と、
平成26年5月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成26年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成26年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼沿岸）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は冷凍原料、製品ともに前月と比べやや増加する程度にとどまり、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

端境期に入るため入荷量はやや減少と見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は端境期を脱し、前月と比べ増加が見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

盛漁期でもあることから入荷量はやや増加と見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は、需要期も過ぎ、前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、品質が良くなることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2 %	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	4 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
26年	47	893	40	894	40	866
前年	53	800	41	820	48	774

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	4 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	289	82	77	69
さけ・ます（平均）	930	100	165	147
（ぎんざけ塩蔵品）	788	100	137	120
（あきさけ塩蔵品）	584	101	136	128
（ときさけ塩蔵品）	945	100	157	134
（べにざけ塩蔵品）	1,050	100	127	120
（さけ類冷凍品）	952	100	181	160
さば（生鮮品）	526	122	135	143
するめいか（平均）	578	108	115	126
（生鮮品）	724	127	105	99
（冷凍品）	505	100	117	135
あじ（生鮮品）	686	97	100	116
まぐろ（冷凍品）	1,193	99	99	87
（めばち冷凍品）	842	100	101	87
（きはだ冷凍品）	726	99	94	82
（くろまぐろ冷凍品）	3,437	109	98	98
（みなみまぐろ冷凍品）	1,779	105	82	83
かつお（生鮮品）	1,051	120	115	92

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：4月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成21年～25年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、原

直通 03-3591-5612